

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	92	事業名	39歳以下健診事業 (中事業名) 39歳以下健診事業		担当課		健康推進課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-2-3 39歳以下健診事業		
					決算書ページ		148 ~ 一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち						
		政策	3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進						
		施策	(1) 市民の健康づくり						
	その他	開始年度	昭和62年度						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可		
		根拠法令等	地域保健法						
		関連計画	長久手市健康づくり計画						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）			
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 17,046 【事業内容】 健康診査を受ける機会のない若い年齢（16歳から39歳まで）の人が健康診査を受け、自らが健康に意識を持ち、生活習慣病を早期から予防するよう39歳以下健診を行う。		...▶▶▶ 【アクションプラン指標】 受診者数【単年】 【その他の指標】 子宮頸がん検診とのセット検診の受診者数		▶▶▶ 各種健診の受診行動を通して、市民が自分の健康に関心を持ち、自ら健康づくりに取り組む人が増える。 (成果指標名) 市民アンケート「健康を意識した生活をしていると思う」の該当率（20～30歳代）		▶▶▶ 大 事 業 共 通 市民の生涯にわたる健康の保持増進を図り、健康寿命が延伸する。	

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）

活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
活動指標	1	【アクションプラン指標】 受診者数【単年】	回	基準値	289	目標値	300	300	300	300	
				目標値	300	実績	328				
	2	【その他指標】 子宮頸がん検診とのセット検診の受診者数	人	基準値	-	目標値	130	140	150	160	170
				目標値	-	実績	199				
	3			基準値		目標値					
				目標値		実績					
	4			基準値		目標値					
				目標値		実績					
事業開始の背景		学校や職場等での健診を受ける機会のない16～39歳の市民を対象として、若い世代からの生活習慣病を予防する対策の一環として、市民が自分の健康状態を確認し、早期発見・早期治療によって市民の生涯にわたる健康の保持増進を図ることを目的とし実施。健康づくり計画（第2次）以降は「健康管理」の項目として位置付け、性別、年齢を問わず各種健診受診を進めている。									
		各年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由									
エピソード	R 6	・ 5日間実施し、328人の受診があった。 ・ 前年度までは一部（3日間）であったが、令和6年度からは全日程を子宮頸がん検診セットで受診できるようにした。 ・ 若い世代が受診しやすい健診とするため、インターネットでの健診日時の予約、子宮頸がん検診との同時受診など、利便性を高めている。				R 7					
	R 8					R 9					

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		市民アンケート「健康を意識した生活をしていると思う」の該当率（20～30歳代）	%	年度	▶	年度	▶	【現状】 5 年度	▶	12 年度	▶	17 年度	
							64		69		74		
		成果達成状況						指標目標値の根拠					
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						20歳以上の成人全体では、健康を意識した生活をしていると思う人は74.2%であるが、当該事業の対象年齢である20～30歳代の該当率を指標とした。成人全体の現状値74.2%を12年後の目標値として設定した。（アンケートは健康づくり計画の中間評価時と最終評価時に実施予定）				
	評価の理由、分析												
	20～30歳代では、主観的健康観は高い反面、健康を意識した生活を送っている人は、他の年代に比べて少ない。若い世代から健康を意識する人を増やして、生涯にわたる健康の保持増進を図っていく必要がある。												
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由									
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		若い世代で健康に関心が薄い傾向があり、職場等での受診機会がない人に対して、疾病の早期発見、早期治療、生活習慣病の予防につなげる必要があるため。								
		改善ポイント											
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）													
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度			
1	39歳以下健診自己負担金	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	受益者負担の観点から、自己負担金額の見直しを行う。							令和7			
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
			C. 縮小 D. 廃止			3,087	2,232	3,088	2,534	2,896	
		理由			特定財源	合計額	350	281	262	321	546
		健康の保持増進のため、職場等で健診を受診する機会のない若い世代の市民の健診受診機会を確保する必要があるため。	(内 国費)								
			(内 県費)								
			(内 諸収入)			350	281	262	321	546	
			(内 その他)								
		積算額			一般財源		2,737	1,951	2,826	2,213	2,350
		消耗品費8千円 委託費2,888千円			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 消耗品費 8千円（8千円） 39歳以下健診委託 2,888千円（3,080千円）						